

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七・七二
毎週一回発行

核兵器廃絶へ共同しただちに行動を 原水爆禁止2023世界大会閉会

長崎市内で開かれていた原水爆禁止2023年世界大会は8日、台風接近のため日程を変更してナガサキデー集会(閉会総会)と分科会を開きました。

ムハマド氏、東京都杉並区の岸本聡子区長がビデオメッセージを寄せました。

300人(主催者発表)が参加し、核兵器廃絶に向けて「ただちに行動に立ち上がろう」と訴える決議「長崎からのよびかけ」を採択し、閉幕しました。

中満氏は、「人類が平和を求めて前進するための新たな原動力が必要」だとして「市民社会は、核リスクを減少し、軍縮を進める存在である」と期待しています」と語りました。

国連の中満泉軍縮担当上級代表、マレーシア国連代表部常駐代表のアハマド・ファイザル・

ムハマド氏は「市民社会は私たちのパートナーであり、核兵器のない世界を達成する事業の成功のカギを握る」と強調しました。

岸本氏は「唯一の被爆国が核兵器禁止条約に背を向けていることはたいへん残念であり、恥ずかしい」とのべ「核保有国や『核の傘』の下にいる国々でこそ核廃絶の運動が必要だ」と話しました。

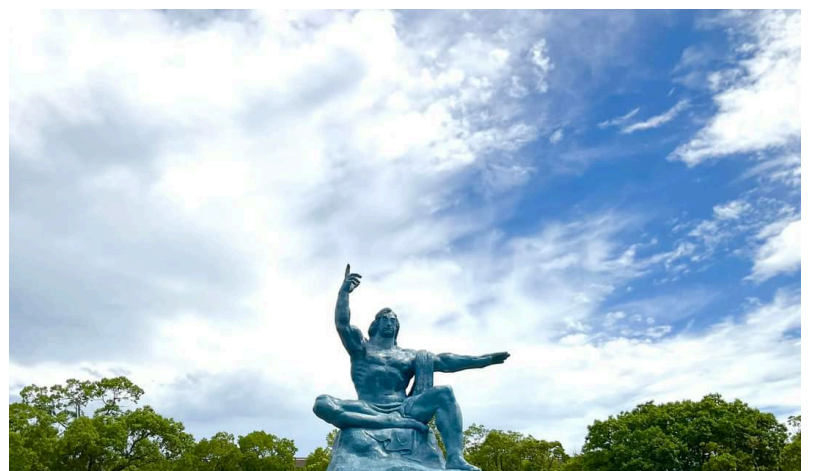
日本原水爆被害者団体協議会の田中熙巳代表委員が長崎での被爆体験を語り「被爆者

の体験を追体験し、リアルにつかんでほしい。それが核兵器をなくすための大きな行動力になる」と訴えました。

オール沖縄1区代表で日本共産党の赤嶺政賢衆院議員が沖縄のたたかいを報告。沖縄・南西諸島の軍事基地化に反対する九州・沖縄各県の代表や若い世代が壇上を埋め、リレートークしました。(しんぶん赤旗8・9号より)



もとむら伸子 FB より



健康保険証廃止は中止を 豊田革新懇が駅で署名行動

手作りの「マイナ保険証のぼり」が目立っていました。



豊田革新懇は3日のスタンディング行動を毎月続け、8月3日は、午後1時から暑い中で「健康保険証の廃止は止めてください」の署名に取り組みました。通行の方から「政府がやっていることはおかしい」と、署名に協力していただきました。



後援会「花火を見る会」に集う

おいでんまつりの花火の日、日本共産党豊田市後援会は「花火を見る会」を行い、40人が参加しました。根本市議、みよしの牧田市議もあいさつを行いました。初めて参加した方も、「花火が近くで見られてよかった。来年も来たい。」と喜ばれました。

豊田革新懇結成26周年 講演会
共闘と革新懇の役割



法政大学名誉教授
五十嵐 仁さん

10月7日(土)午後2時(開場 午後1時30分)

豊田市福祉センター 41会議室

主催：豊田革新懇

しんぶん赤旗 電子版

無料 お試し キャンペーン 実施中

3週間 無料で 読めます

下記QRコードから申し込みを

- ◆法律相談は弁護士が 第2土曜日 午前10時～12時で
- ◆生活相談は随時、根本議員が対応
- ◆法律相談は要予約。お申し込みは 日本共産党西三地区委員会まで 電話 0564-23-2785
- ◆生活相談は根本議員まで 電話 0565-34-4772



根本みはる 豊田市会議員



もとむら伸子 衆議院議員



すやま初美 党准中央委員

無料 法律・生活相談 おこなっています